

長野県言語聴覚士会ニュースレター

Vol.16 No3 2018年9月

—今回同封の郵送物です。ご確認ください。—

<各会員宛>

- 1.本ニュースレター
- 2.長野県訪問リハビリテーション実態調査のお願い・アンケート用紙(各院所 1 部)
- 3.第9回長野県訪問リハビリテーション実務者研修会のご案内・申込用紙
(各院所 1 部)

ニュースレター目次

- ・「STの働き方実態調査」ご協力のお願い
- ・職場見学のご報告
- ・摂食嚥下分科会より アンケート結果のお知らせ
- ・第32回標準ディサースリア検査(AMSD)講習会 in 名古屋のご案内
- ・ディサースリア長期講座 2019(MTPSSEを中心として)
- ・H30年度 コミュニケーション障害研究会
日本言語聴覚士協会 生涯学習プログラム認定研修会
- ・研修会のお知らせ(長谷川和子先生勉強会)
- ・長野県摂食嚥下研究会(成人)のお知らせ
- ・会員情報管理からのお願い
- ・広報部よりお知らせ

「STの働き方実態調査」ご協力のお願い

調査部

近年、厚生労働省から「働き方改革」の指針が出されているように、長時間労働の抑制や年次有給休暇取得促進など、各病院・施設において働き方が変化してきていると思われます。そこで、今年度調査部ではSTの働き方について実態調査を行うことに致しました。またその結果に関しては将来STを目指している学生たちにもフィードバックし、STの啓発活動としても利用していくことを考えています。会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

目的

働きやすい職場環境の設定のための現状把握、STの啓発活動への活用

1. 対象

施設・病院に所属している県士会員全員（無記名）

2. 集計・提出方法

各施設・病院へアンケート用紙、返信用封筒を送付（9月末～10月初め予定）

各個人で記入後、各施設ごとまとめて調査部へ郵送にて提出していただく。

3. 締め切り

10月31日（水） 必着

＜問い合わせ・郵送先＞

〒390-8621 松本市旭 3-1-1

信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部

slht.nagano.chosa@gmail.com

寺島 さつき

職場見学のご報告

事業部長 神田秀樹

県士会会員の皆様、日頃から事業部の活動に多大なご協力ありがとうございます。

さて、事業部では昨年度に引き続き、高校生向けの「職場見学」を高校生の夏休み期間中に実施いたしました。県内の高校生 19 名から参加希望があり、県士会会員が所属する 16 施設の御協力を賜りながら、無事に開催することができました。

見学終了後に行った高校生へのアンケートでは、非常に良かったとの感想が多く聞かれました。以下に、いくつかご紹介します。

「声がでない患者さんもいる中で気持ちを汲み取って一人ひとりに対応できるところがすごいと思った」

「言語聴覚士は舌が上手く回らない人に発音の仕方を教えるだけだと思っていたので、今回の職場見学で飲み込みの仕方や、字の読み書きなどを幅広くやっていて、驚きました」

「小さい子どもからお年寄りの患者さんのそれぞれのペースに合わせて内容や時間等が考えられていて勉強になった」

「言語聴覚士としての患者さん、他の職種の方との関わり方。1人の患者さんを4、5人の医療関係者がそれぞれの立場からみていく、というチーム医療を直接見ることでよかった」

「今は普通に話すことができるが、それは決して当たり前のことではないことに気づかされた」

「今まではインターネットなどで調べられる範囲でしか言語聴覚士について知らなかったけど、今回見学をしたことでより具体的なことを沢山知ることが出来たので良かったです」

「とても優しく親切に教えてくださって勉強になったし、良い経験になりました。ありがとうございました」

今回、職場見学を受け入れていただいた会員の皆様におかれましては、どの施設でもとても丁寧に対応して頂きました。日々の業務の中、ご多忙であったとは思いますが、ご協力いただいたお陰で無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

◇摂食嚥下分科会より アンケート結果のお知らせ◇

安曇野赤十字病院 神田 秀樹

平成 30 年長野県言語聴覚士会総会で行われた摂食嚥下分科会では「食に関わる多職種連携～食欲へのアプローチ～」をテーマとしてシンポジウムを行いました。その際、受講された皆さまより【臨床で効果のあった食欲へのアプローチ】についてアンケートを行いました。ご協力頂きました皆様には深く御礼を申し上げます。以下にアンケート結果をまとめましたのでご確認ください。

○食物の調整 (*【 】: 食欲低下に至ったと思われる理由)

- ・食べたいものや食べられるものを聴き、そのメニューに近いものや実際のもの【小脳疾患による頻回な吐気・嘔吐、栄養低下】
- ・冷たいゼリー、ペースト状の果物【口腔感覚低下、認知機能低下】
- ・食欲低下患者用の食事（なごみ食：果物・口あたりが良いもの。嗜好を考慮したメニュー。癌患者様など向け）へ変更【認知機能低下】
- ・義歯不適合に対する歯科介入依頼、食形態アップ（形がある物へ変更）【咀嚼力低下、咬合力低下】
- ・アイスクリームは好まれることが多い
- ・水分にトロミが必要な方に対して水ゼリーを提供【トロミが嫌い】
- ・制限食をはずして自宅から持ってきていただく【おいしくない」「〇〇が食べたい」という方】
- ・市販のクリームパンを少量のお湯でふかし、かき混ぜるとペースト状にちかくなり摂取がすんだ【多系統萎縮症の方：パン好き、嚥下機能低下】
- ・味を濃く（甘く）する【認知機能低下、口腔感覚低下】

○環境の調整

- ・大勢の方と食堂・ホールで食べる【認知機能低下】
- ・自力で食べるようセッティングするとスムーズに摂ることができた【認知機能低下】
- ・場所、介助者を変える【認知機能低下】
- ・介助者の声かけを増やし、食具を工夫して自力摂取を促す【覚醒が不安定】
- ・介助を家族に変更【認知機能低下】

○その他

- ・運動量の増加【認知症、運動量が少ない方】
- ・口腔ケア、味付けの工夫【口腔内汚染、口内炎、義歯不適合】
- ・食品の匂いをかいでもらう。分食にしてもらう【認知機能低下、口腔内汚染】

◇会報担当より 会報誌の原稿の期日についてのお知らせとお願い◇

広報部では会報誌の作成にあたり、会員の皆様からのご寄稿を常時受け付けております。皆様からのご寄稿は大変励みになりますので、機会があればご寄稿をお待ちしております。

次回の会報誌は 2 月末発刊を予定しております。編集の都合上、会報誌に掲載したい原稿がある場合には、平成 30 年 12 月 25 日（月）までにご連絡いただきますようお願い致します。原稿は「会報誌掲載希望」の件名で、広報部のアドレス：slht.nagano.koho@gmail.com までお送りください。その他、ご不明な点がございましたら、上記の広報部のアドレスに問い合わせさせていただきようお願い致します。

第 32 回標準ディサースリア検査 (AMSD) 講習会 in 名古屋のご案内

*長野県言語聴覚士会との後援研修会となります。

2019年2月10日(日)～11日(月、祝)の2日間

10日(9:00～17:20)・11日(9:00～15:00)

セントレアホール

〒479-0881 愛知県常滑市セントレア1丁目(中部国際空港内)

TEL: 0569-38-1195(セントレアテレフォンセンター)

〔アクセス〕飛行機を利用する場合は、中部国際空港内第2セントレアビル内4階

電車を利用する場合は、名古屋鉄道で中部国際空港行きを利用し、

中部国際空港内第2セントレアビル内4階

<http://www.centrair.jp/access/>

http://www.centrair.jp/business/event/centrair_hall/access.html

主催: 日本ディサースリア臨床研究会

後援: 愛知県言語聴覚士会、長野県言語聴覚士会、三重県言語聴覚士会、

岐阜県言語聴覚士会、静岡県言語聴覚士会、一般社団法人和歌山県言語聴覚士会

講師: 西尾正輝(新潟医療福祉大学)、中西俊二(イムス札幌内科リハビリテーション病院)

田中康博(名古屋大学)、鈴木真生(多摩リハビリテーション学院)

定員: 200名(申し込み先着順で、定員になり次第締め切らせて頂きます)

受講料: 15,000円(学生10,000円)(認定修了証、資料冊子、備品代金を含む)

【お申し込み方法】

講習会特設ウェブサイトよりエントリーください。右のQRコード、もしくは以下URLよりアクセスください。受付手続き終了後、受講許可証および受講料の振込先をお知らせいたします。

<http://www.interuna.jp/amsd32/>

※事情により、インターネット経由でのお申し込みが難しい場合は、下記事務局へメールでご連絡ください。

【お問い合わせ先】

第32回標準ディサースリア検査講習会 事務局

〒198-0004 東京都青梅市根ヶ布1-642-1 多摩リハビリテーション学院内

E-mail: gakujutsu@tama-riha.ac.jp

TEL: 0428-21-2001 FAX: 0428-21-2413

※お問い合わせはメールでお願い申し上げます。

標準ディサースリア検査(AMSD)は、旭式発話メカニズム検査を基として標準化された総合的ディサースリア検査法です。本講習会では、AMSDを母体として開発された嚥下運動機能検査(AMFD)講習会も兼ねます。講習会では、本検査の実施方法について講義ならびに実技演習を行います。初心者、学生の参加も十分可能です。

今回は、2日目午後に症例提示に加えて、本研究会西尾会長によるミニセミナーを開催します。ミニセミナーでは、AMSDを軸にした新しいディサースリアと嚥下障害の評価と治療への応用技術について解説する予定です。

ディサースリア長期講座 2019 (MTPSSE を中心として)

2019年6月～10月の月一回

(第3土曜日 13時～16時45分。ただし、6月と7月のみは午前10時～12時に姿勢の改善アプローチについて実施致します。こちらの参加は自由です。また、この姿勢の改善アプローチについてのみ、本長期講座担当講師の西尾正輝以外の講師が担当致します)

日本教育会館 第二会議室 (8階)

(東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2831 FAX 03-3230-2834)

【アクセス】 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線・都営三田線 神保町駅(出口A1)より徒歩3分(日本教育会館交通案内 <http://www.jec.or.jp/koutuu> でもご覧いただけます)

主催：日本ディサースリア臨床研究会

後援：一般社団法人東京都言語聴覚士会、一般社団法人栃木県言語聴覚士会、
一般社団法人茨城県言語聴覚士会

講師：西尾正輝(新潟医療福祉大学)

定員：150名(申し込み先着順で、定員になり次第締め切らせて頂きます)

受講料：30,000円

テキスト代金：MTPSSEが刊行される予定ですので、各自で購入し持参して頂くとより理解しやすいと思います。同書の刊行が間に合わない場合、講座の内容が理解できるように、受講者には本講座専用資料冊子を特別に作成する予定ですので、希望者に実費にて配布致します。

【お申し込み方法】 事前登録制となります。

長期講座事前登録フォームよりエントリーください。右のQRコードを読み取り、アクセスしてください。事情により、QRコードの読み取りが難しい場合は、下記事務局へメールでご連絡ください。

受付手続き終了後、受講許可証および受講料(事前振込制)の振込先を登録されたメールアドレスにお送りいたします。

メール受信設定をされている方は、事務局のアドレス(gakujutsu@tama-riha.ac.jp)が受信できるよう設定をお願いいたします。

【お問い合わせ先】 ※お問い合わせはメールでお願い申し上げます。

日本ディサースリア臨床研究会 事務局 鈴木真生

〒198-0004 東京都青梅市根ヶ布 1-642-1 多摩リハビリテーション学院内

E-mail: gakujutsu@tama-riha.ac.jp

TEL: 0428-21-2001 FAX: 0428-21-2413

かつて開催していた「ディサースリア年間講座」の内容を、治療手技に限定し、内容を大幅に最新の情報に刷新し、約16年ぶりに開催します。「高齢者の発話と嚥下の運動機能向上プログラム(Movement Therapy Program for Speech & Swallowing in the Elderly: MTPSSE)」を中心として解説致します。MTPSSEは、ディサースリアと摂食嚥下障害に有効なハイブリッドアプローチです。

治療手技の細部は、書籍では伝えきれません。そこで、本講座では徹底して演習を中心として実施します。ただし、この長期講座を開催するのは、今回限りだけです。MTPSSEが出版される予定の年に限定した特別企画です。

H30 年度 コミュニケーション障害研究会

日本言語聴覚士協会 生涯学習プログラム認定研修会

長野県言語聴覚士会
学術教育部

開催日時：H30 年 11 月 4 日(土) 13：00～16：00

会 場：相澤病院 ヤマサホール 小ホール

内容：13：00～ 講演「家族支援～児童相談所の現場から～」

藤沢 広信 先生（諏訪児童相談所 所長）

15：00～ 症例発表

*症例発表を引き続き募集しています。

症例発表をしていただくと、生涯学習プログラムの修了項目に認定されます。

また、発表の方法やまとめ方など不安のある方は学術教育部で当日までお手伝いをさせていただきます。

応募は、メールの題名を「事例検討募集」とし、①名前、②所属、③題名（(仮) でかまいません）を記載して以下にご連絡ください。

連絡先 slht.nagano.gakukyo@gmail.com (学術部担当 武藤、寺島)

参加希望の方はメールにて事前申し込みをお願いします。

題名を『コミュニケーション障害研究会参加申し込み』としてください。

本文に①氏名②所属③協会会員番号④託児利用の有/無を記載してください。託児の設置を予定しております。県士会員のためのサービスです。ご希望の方には後日ご連絡させていただきます。

また、ST 協会生涯学習プログラムの参加証明書は 1 日の参加が必要です。

申し込み締め切りは 10 月 28 日（土）とさせていただきます。

託児希望の方の申し込み締め切り 10 月 21 日（土）とさせていただきます。

連絡先 slht.nagano.gakukyo@gmail.com (学術部担当 武藤、寺島、小林、笠原)

*会場の駐車場の混雑が予想されますので、乗りあわせでのご参加をお願いいたします。

また、第 2 駐車場のご使用をお願いいたします。

研修会のお知らせ

長野県言語聴覚士会
学術教育部

長谷川和子先生（上伊那生協病院）をお招きして研修会を開催します。

開催日時： 第1回 H30年12月9日(日) 9:00~12:00

第2回 H31年1月20日(日) 9:00~12:00

第3回 H31年2月3日(日) 9:00~12:00

第4回 H31年3月3日(日) 9:00~12:00

会場：諏訪赤十字病院

テーマ：詳細が決まり次第、メールやホームページにてお知らせいたします。

メールにて事前申し込みをお願いします。

先着順で定員は30名となります。

題名を『研修会参加申し込み』としてください。

本文に①氏名②所属③協会会員番号④希望される日程を記載してください。

申し込み締め切りは第1回12月1日(土)

第2回1月12日(土)

第3回1月26日(土)

第4回2月23日(土)とさせていただきます。

連絡先 slht.nagano.gakukyo@gmail.com

(学術部担当 武藤、寺島、小林、笠原)

*会場の駐車場の混雑が予想されますので、乗りあわせでのご参加をお願いいたします。

『長野県摂食嚥下研究会（成人）のお知らせ』

「分からないことを『分からない』と言える、そんな気軽に意見交換のできる」研究会を目指しております。多くの方に参加して頂き多くの意見や情報が得られたらと思います。

- ・日時：平成30年10月20日(土) 14:00~17:00
- ・場所：相澤病院 第1会議室
- ・内容：○症例報告 ○キッセイ薬品工業株式会社 【やわらかあいディッシュの試食】【スルーソフトリキッドによる炭酸飲料とろみ付け】
- ・参加費：無料
- ・申し込み：不要。お気軽に参加頂ければと思います。
- ・問い合わせ先：安曇野赤十字病院 リハビリテーション科 神田 TEL:0263-72-3170 (代表)

◇会員情報管理からのお願い

会員情報管理からのお願い・お知らせ

●各種届出について

入会・変更・休会等をご予定の方は、当該届出書の提出をお願い致します。各種届出書は、県士会ホームページよりダウンロードできます。

【ダウンロード先】

<https://www.slht-nagano.org/>お問い合わせ等/各種届出等ダウンロード-m1紹介/

●ニュースレター配送数について

今回発送のニュースレターで部数の過不足がありましたら、お手数ですが事務局までお知らせください。

◇広報部よりお知らせ◇

広報部より、HP 一部変更のお知らせ。

HPでNLバックナンバーが閲覧、ダウンロードできるようになりました。ホーム→会員専用ページ→パスワード入れログイン→会員専用ページの右上バナーに“NLバックナンバー”がありますので、そこをクリックして下さい。今年度分のNLを掲載しております。必要な時にご活用下さい。

尚、会員向け情報ページのパスワードは「nagano」です。所属一覧などはそこから確認できます。会員の皆様ご活用ください。





長野県言語聴覚士会 ニュースレター 2018年9月

発行：長野県言語聴覚士会広報部 NL 担当

〒393-0077 長野県諏訪郡下諏訪町矢木町 214

社会医療法人 南信勤労者医療協会 諏訪共立病院

TEL：0266-28-2012（代）FAX：0266-28-5241

E-mail：slht.nagano.koho@gmail.com

※次号は11月末です。掲載ご希望の情報などがありましたら、
平成30年11月末までに広報部 NL 担当にご連絡ください。